

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 8月 14日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都小平市小川東町3-6-1

氏名 第一屋製パン株式会社
代表取締役社長 細貝 正統

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	第一屋製パン株式会社 代表取締役社長 細貝 正統				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都小平市小川東町3-6-1				
主たる事業の業種	大分類	E 製造業			
	中分類	09 食料品製造業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	1,506	kl	自動車の台数	台

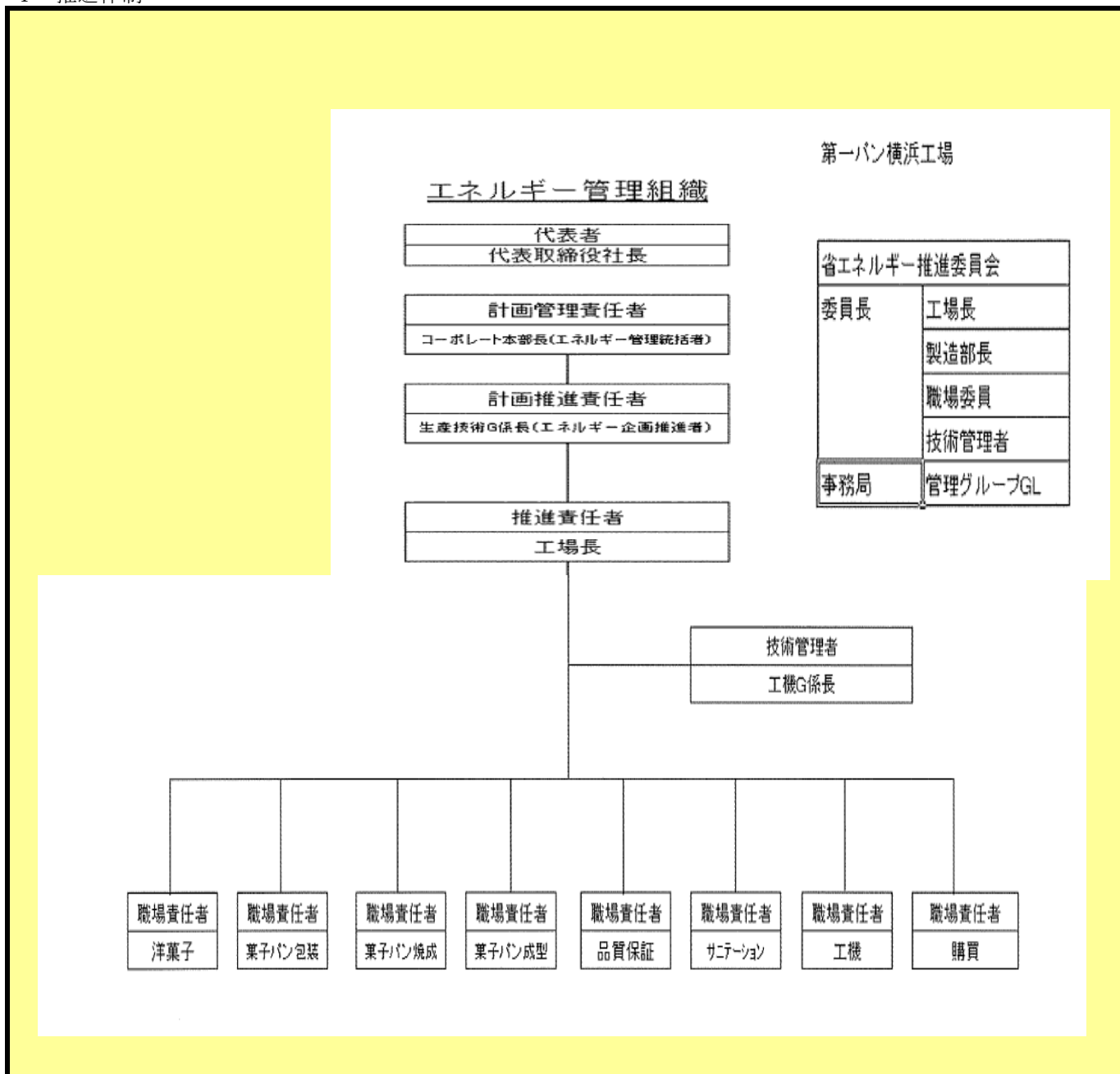
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <ul style="list-style-type: none">・第一屋製パン株式会社横浜工場は省エネルギー委員を設置して省エネ活動を推進し、原単位1%削減を目標に取り組んでいます。・機器更新時には高効率の製品を選定する。 <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備</p> <ul style="list-style-type: none">・GHP空調機・照明設備 <p>②上記①の設備を選定した理由</p> <ul style="list-style-type: none">・GHP空調機は設置から13年経ち老朽化。照明設備を順次LEDに更新することで消費電力を削減する。 <p>③設備更新スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none">・30年更新予定
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	第一屋製パン株式会社 横浜工場
	所在地	横浜市戸塚区平戸町100番地
	閲覧可能時間	9:00～17:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	2,999	t-CO ₂				基準原単位	67.74	t-CO ₂ /千袋
	調整後	2,972	t-CO ₂				目標原単位	64.35	t-CO ₂ /千袋
目標年度 (2018年度)	目標排出量	2,849	t-CO ₂	削減率	5.0 %	目標原単位	削減率	5.0 %	
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	高効率機器に更新出来るものは順次更新していく。29年空調機更新予定。								
事業者全体としての 目標等	基準排出量の5%削減を目標にしていく。								
第一年度 (2016年度)	排出量	3,126	t-CO ₂	削減率	▲ 4.2 %	排出原単位	66.57	t-CO ₂ /千袋	
	調整後	3,081	t-CO ₂	削減率	▲ 3.7 %		削減率	1.7 %	
目標等の達成状況 及び説明	担当者が変更になり削減施策の引継が十分に行われなかった結果、排出量が昨年を上回ってしまった。今後削減施策を見直してエネルギー削減に努める。								
第二年度 (2017年度)	排出量	3,044	t-CO ₂	削減率	▲ 1.5 %	排出原単位	61.46	t-CO ₂ /千袋	
	調整後	2,947	t-CO ₂	削減率	0.8 %		削減率	9.3 %	
目標等の達成状況 及び説明	電気・ガス使用量共に削減することが出来た。エアコンの設定温度の管理等細かな取り組みが使用量削減に繋がったと推測される。								
第三年度 (2018年度)	排出量	3,007	t-CO ₂	削減率	▲ 0.3 %	排出原単位	61.22	t-CO ₂ /千袋	
	調整後	2,877	t-CO ₂	削減率	3.2 %		削減率	9.6 %	
目標等の達成状況 及び説明	空調機を高効率機器の更新、LED更新等が大きな結果に繋がったと思われる。								
計画期間全体の排出 状況に関する説明	エアコンの設定温度管理の見直し、設備導入の高効率機器化が大きな要因と思われる。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /		
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	2,999	1	3,126	1	3,044	1	3,007
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計	1	2,999	1	3,126	1	3,044	1	3,007

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況					
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施中	実施済	1/1	—	年度	スケジュール記載済み			実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度		圧縮配管未実施		実施中	0/1	—	2018年度		圧縮配管未実施		実施中	0/1	—	2021年度		圧縮配管未実施	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	設備設計上管理難しい			非該当	/	—	年度	設備設計上管理難しい			非該当	/	—	年度	設備設計上管理難しい		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	機器設計上管理が難しい所有			非該当	/	—	年度	機器設計上管理が難しい所有			非該当	/	—	年度	機器設計上管理が難しい所有		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	地下駐車場無し			非該当	/	—	年度	地下駐車場無し			非該当	/	—	年度	地下駐車場無し		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度		LEDに一部変更済み		実施中	0/1	—	2018年度		LEDに一部変更済み		実施中	0/1	—	2021年度		LEDに一部変更済み	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー 4/4	—	年度				実施済	(設備の種類)ボイラー 4/4	—	年度				実施済	(設備の種類)ボイラー 4/4	—	年度			
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当施設無し			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当施設無し			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当施設無し		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備設計上管理難しい			非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備設計上管理難しい			非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備設計上管理難しい		
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備設計上管理難しい			非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備設計上管理難しい			非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備設計上管理難しい		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類)バルブ 10/10	—	年度				実施済	(設備の種類)バルブ 10/10	—	年度				実施済	(設備の種類)バルブ 10/10	—	年度			
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉未使用			非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉未使用			非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉未使用		
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 3/3	—	年度				実施済	(設備の種類)コンプレッサ 3/3	—	年度				実施済	(設備の種類)コンプレッサ 3/3	—	年度			
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 3/3	—	年度				実施済	(設備の種類)コンプレッサ 3/3	—	年度				実施済	(設備の種類)コンプレッサ 3/3	—	年度			

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度											
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況						
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		0.32 %		3,007		58.4		48.6		10					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	空調機の更新	横浜工場	2017	包装場を冷やす空調機で30馬力×4台。設置より25年経過の為能力低下。	昼間買電	91	千kWh	46.6	30馬力×2台を高効率に更新	昼間買電	76	千kWh	38.9	9.7	12,800 千円
					夜間買電	23	千kWh	11.8		夜間買電	19	千kWh	9.7		
															千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	蛍光灯をLEDに変更	平成26年度	27.3W×744本×8640H	175,488kwh/年
2	蛍光灯をLEDに変更	平成29年度	27.3w×52本×8640H	12,265kwh/年
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜工場	130t-CO2	東京電力エナジーパートナー
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	生産過程で出る不良品を養豚場等へ引き取ってもらう
計画期間内に実施する対策	節水、ゴミの分別
第一年度実績	ゴミの分別に関してはほぼ出来ている。 節水に関してはまだ不十分。
第二年度実績	ゴミの分別に関してはほぼ出来ている。 節水に関して、生産工程の問題もあり思うように進んでいない。
第三年度実績	ゴミの分別に関してはほぼ出来ている。 節水に関しては、生産工程の問題もあり一部しか進んでいない。

14 実施状況等に対する自己評価

電気・ガス使用量共に減らすことが出来た。空調機の高効率の更新等を実施することが使用量削減に繋がったと推測される。
--